

# 1 山がちな日本の地形

## ○地震や火山が多い日本列島

( **造山帯** )とは、( **山地** )や( **山脈** )が連なっている所のこと

→高く険しい山々が見られ、地震などが多く、火山活動も活発

※( **山地** )とは、いくつかの山がまとまっている所のこと。( **山脈** )とは、山が特に細長く連なっている地域のこと

[ ( **アルプス・ヒマラヤ造山帯** \*\*\* ): アルプス山脈やヒマラヤ山脈、インドネシアの島々へ続く造山帯

[ ( **環太平洋造山帯** \*\*\* ): ロッキー山脈やアンデス山脈、ニュージーランドなど太平洋を取り囲むように連なる造山帯。日本列島も含まれる

プレートとは、地球の表面を覆う十数枚の厚さ100kmほどの岩盤のこと

→プレートは一年間に数cmほど動いており、プレートどうしがぶつかったり、ずれ動いたりする

## ○日本列島の背骨をなす山地

日本の面積の割合: 国土の大部分は山がちで、山地の割合が75%ある

<日本の国土面積の割合>

山地 75%	平野 25%	
	低地 14%	台地 11%

( **日本アルプス** \*\*\* )とは、本州中央部に位置する飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の総称のこと

→日本アルプスの東側には( **フォッサマグナ** \*\*)がある

※( **フォッサマグナ** )とは、本州の中央部を南北に横断する地溝帯のこと。ラテン語で「大きな溝」という意味。

西の縁は糸魚川市(新潟県)と静岡市(静岡県)を結ぶ